

大阪における実証実験の実施支援実績

[2023 年度]

大阪府、大阪市、大阪商工会議所

※大阪商工会議所事務局がエントリーを受けたもの

1. デジタルツイン技術を活用した AR コンテンツ表示実証実験※1

明段舎株式会社（本社：大阪市北区 代表取締役：ブラウン・ダニエルジョン氏）から実証実験実施の希望があり、リアルとバーチャルをつなぐ空間情報プラットフォーム（コモングラウンド）を活用した実験場、コモングラウンド・リビングラボ（以下、「CGLL」）で実施できるよう調整、支援した。



①実施日：2023年5月12日～5月15日

②概要：CGLL 実験場の 3D データから立体的な空間情報を取得し、同情報を使ってスマートフォンのアプリ上で3次元のARコンテンツを表示させることができるか技術的検証を行った。

③今後：今回の実証の結果を受けて、AR コンテンツ表示技術を企業の展示会や工場、博物館へ導入することを想定し、更なる開発を進める。

2. 会議・イベント開催時のCO2排出量見える化実証実験

株式会社テックシンカー（本社：東京都品川区、代表取締役社長：洪偉豪氏）から実証実験実施の希望があり、大阪商工会議所で実施できるよう調整、支援した。

①実施日：2023年9月4日～11月30日

②概要：(株)テックシンカーが開発した、イベント開催時に排出されるCO2を簡便に算出できるWEBアプリを、大阪商工会議所が主催する会議やイベントで活用することで、同WEBアプリを活用したCO2算出にあたっての課題や問題点の調査、アプリのUI・UX改善に向けた検証を行った。



③今後：今回の実証の結果を受けて、WEBアプリを改良して信頼性の高いCO2排出量を算定・可視化することに加え、カーボンオフセットの事業領域と組み合わせた新規事業の創出をめざす。

3. 「縦型オールインワン型 IoT 降雨計での集中豪雨の遠隔監視」に関する実証実験

TST ジャパン株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役：古田兼三氏）から実証実験実施の希望があり、「アジア太平洋トレードセンター（以下「ATC）」はじめ大阪府下複数エリアで実施できるよう調整、支援した。

①実施日：2023年9月22日～2024年3月15日

②概要：TST ジャパン(株)が開発した、縦型オールインワン型 IoT 降雨計を、大阪市内を中心とする大阪府下 24 ヲ所の施設に設置し、降雨計の機能検証及び複数箇所設置による集中豪雨などの予測精度の検証を行った。

③今後：今回の実証の結果を受けて、システム構築して実証事業を行い、2025年商品化を目指す。2024年度中に、機器の改良、気象庁より降雨計の型式認定の取得予定。



4. 都市型自動運転船「海床ロボット」による都市の水辺のイノベーション実証実験

株式会社竹中工務店（本社：大阪府中央区、取締役社長：佐々木正人氏）を代表法人とする海床ロボットコンソーシアムと特定非営利活動法人大阪水上安全協会から実証実験実施の希望があり、大阪城公園東外堀で実施できるよう調整、支援した。

①実施日：2023年12月6日～2023年12月7日

②概要：(株)竹中工務店を代表法人とする海床ロボットコンソーシアムが開発した「海床ロボット」を大阪城公園東外堀に浮かべ、新しいモビリティの活用可能性を検証した。さらには、「海床ロボット」の事業化を見据え、運用や収益性、安全性の検証を大阪水上安全協会とともにを行った。

③今後：今回の実証の結果を受けて、海床ロボットを活用した旅客事業を行なうために必要な安全管理対策が明確になったので、仕様に反映させ、今後の船体の改良・開発に生かす。



5. 「中之島チャレンジ 2023」における移動ロボットの自律走行技術実証

株式会社プロアシスト(本社：大阪市、代表取締役社長：阪田敦規氏)より実証実験実施の希望があり、中之島公園で実施できるよう調整、支援した。

- ①実施日：2024年1月20日～2024年1月28日
- ②概要：2018年から継続的に行っている中之島公園で移動ロボットを自律走行させる公開共同実験を実施した。今年度は13チーム17台のロボットが自律走行、ごみ回収、人物発見の各機能の精度検証を行った。
- ③今後：「2050年に1人で数十体の清掃仕事をこなせる未来」をめざし、検証課題を拡大した実証実験の企画・検討を進める。



※1 この実証実験はコモングラウンド・リビングラボと大阪商工会議所がスマートシティ実現に向けて実施した公募に採択されたもので、実証事業推進チーム大阪が実証実験の実施を支援した。(2023年度：全1件)

以上